

八戸駐屯地は7月22日

郎4号P岸壁において、海上自

歓迎行事に参加するとともに、 八戸港海の日行事を支援した。

## 護 衛 艦

## 24日(日)の間、八戸港八太 金) 第9後方支援連隊、第9施設日、第4地対艦ミサイル連隊、

衛隊護衛艦「ひゅうが」の入港。戸派遣隊が来場者に対する装 備品等について熱心に質問さ 大隊、第123地区警務隊八 もかかわらず展示している装 備品展示を実施した。雨天に

## \*見学を 主接衛艦( 終 えてて

児が歌や花束贈呈で護衛艦ひゅ

3000名の方が訪れた。 ひゅうがを一目見ようと合計約 約11年ぶりの入港となる護衛艦

明を受けながら興味津々に見学

陸上自衛隊からは23日及び24

# 航

## き、参加者は乗組員の丁寧な説 との交流の促進を図り、自衛方々に護衛艦見学に参加して頂 備品展示等を通じて地域住民また、八戸駐屯地モニター等の 的に各種行事に参加して、装またとその乗組員を歓迎した。 八戸駐屯地は、今後も積極 あいさつの後、八戸市の幼稚園、等、それぞれのコーナーが盛は、主催者や来賓からの歓迎の トイコーナーや試着コーナー 22日の入港歓迎式典において 協力本部が用意したカプセル 隊に対する理解促進に努めてとの交流の促進を図り、自衛 り上がりを見せていた。 る関心の高さが伺えた。地方れる方もおり、自衛隊に対す

## 護衛艦ひゅうがについての普段 その他のご意見

知らない業務を知る

見れない物、

ことが出来て良かった。

隊を知ってもらうためにもイベン会だった。他の一般の方にも自衛

トを積極的に実施してほしいと思

隊員の誠実さが伝わって来た見学たようだが見られず残念だった。

天候が良ければ他の階も見学でき



はロー

-が搭載されていて、

様々な質

を隊員の方々が親しみやすく説明

消火装置、ケガに対する止血帯等

艦内で火災が発生した場合の

機材を見学できるスタイ

してくれました。奥のスペースで

・ターを収納したヘリコプ



広大なスペースに各ブースが設



様

防衛モニター 小野 重夫

## 八戸市との大規模災害時における

開は良い機会だと感じました。 問が出ていました。このような公

大規模災害時における 確認 で大規模災害時における で大規模災害時における で大規模災害時にある代表 で大規域では、 で大規模災害時に基づく現地確認をに基づく現地で、 で大規模災害時に基づく現地で、 で大規模、 に関する協定に基づく現地で、 当初、連合町内会、自主防災会、八 一月市市民防災部の職員が細部が、 会回の現地確認については、大 会回の現地確認については、大 会の大変を生時に沿岸沿いの企 を最小限にするための門を確認し、 である後、産 場に避難するための門を確認し、 である後、産 場に変異と時に沿岸沿いの企 である後、の方々の被 であるとののものであ であるとののものであ でも多くの方々の命を災害から自らの命 でも多くの方々の命を災害が にいて、 でも多くの方々の命を災害が のものであ でも多くの方々の命を災害が のものであ である後、引き続き関係部署と

ら守れる様、引き続き関係部署と





基地及び八戸市沿岸の産業道路付 戸駐屯地演習場、 令和4年6月30日 (木) に、

海上自衛隊八戸 ている折り畳み式

### 八戸こども宅食 『おすそわけ便』における広報活動



品展示や陸上自衛隊 され八戸駐屯地は、 ンフレット、

動を実施した。当日布するなどの広報活機の写真シールを配 230名の方が会場 自衛隊の艦艇・航空 は、車内に設置され 急車の装備品展示で に足を運んでいた。 連れで賑わい81家族 に恵まれ沢山の家族 は梅雨の合間の晴れ 中でも、

も積極的に広報活動 うに見学してい 多くの方が興味深そ を実施していく。 を得られるよう今後 衛隊への興味・理解 収容できる仕組など 駐屯地は、一層自 た。

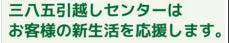
海上



ファミリープラン









三八五引越センター 國 0120-01-0385

青森駐屯地に



## 第9師団長感謝状贈呈式

八戸駐屯地推薦者3名受賞





協会東北支部講師の藤 式に参加されるととも 式典等に参加いただい に第9師団の記念行事 か贈呈された。 一郎様の3名に感謝状 当日は藤村様が贈呈 受賞者の皆様には引

大隊OB会会長の葛西 京山裕様及び第9施設 京山裕様及び第9施設 状贈呈式が実施された。おいて第9師団長感謝 日本産業カウンセラー 八戸駐屯地からは、





謝状は当初、令和4年感謝状を受賞した。感 おいて贈呈される予定 度定時総会後の式典に 会の充実発展に多大な ウイルス感染拡大を考 だったが、新型コロナ 公益社団法人隊友会よ 4年6月22日 永年にわたり隊友

公益社団法 謝 狀 八戸駐屯地は、令和 隊友会より 受

## 八戸駐屯地に新たなコイの気配









日本生命保険相互会社 青森支社 【八戸南営業部】川崎 靖子・柏崎 知美 【八戸西営業部】佐々木 桐恵・君島 実可子 【常駐員】長松 弘江・石井 典子

### 青い森しんきんは、

『地域の皆様の笑顔』と共に 歩みます。





ホームページ http://www.aoimorishinkin.co.jp/



### 久 年度新隊員 4 5

とができる職業でもあります。



需品教育隊

秋田県

横手市出身

強く鍛え上げることができ、人とし 日々精進していきます。 となく「全力」で行い、自分が目指 です。何事にもおいても手を抜くこ ても強くなれる所です。時には厳し

す自衛官に少しでも早くなれるよう 後輩の皆さん、自衛隊は体と心を 自衛官を目指している後輩に一言



教育を受けながら同期の皆と試行錯 とが印象に残っています。 誤し力を合わせることで上達するこ 何もわからない状態からのスタート。 とができ、同期の絆を強く感じたこ 配属後の意気込み 意気込みを一言で表すと「全力」 射撃班訓練です。



青森県 おいらせ町 平 尚悟

### 9 窟

(2) 無品教育隊は「隊員匹名の少券料」 無品教育隊は「隊」 中をかけ合いながら互いを高め合い、一日一日を大切に、切磋琢磨しながら過ごせた事が思い出に残っています。 教育隊で教わった事を活かし、分数有隊を修了しても「学ぶ」という 気持ちを忘れずに部隊に貢献できる おう頑張りたいです。 自衛官は人を助け、役に立てる素 自衛官は人を助け、役に立てる素 自分を成長させ立派な人間になるこ時らしい仕事だと思います。また、自衛官は人を助け、役に立てる素



ト 開 設 訓 練 外入浴セッ

派な自衛官になりたいです。

上に覚えることも増え、辛いと思う てる人間になりたいです。今まで以

部隊配属後は即戦力として役に立

配属後の意気込み

ことがあってもそれを乗り越え、立

隊員四名の少数精 佐藤 哉斗

需品教育隊は、

教育間の思い出

車 両 整 備 実 習

### 武器教育隊

教育間の思い出

諦めることなく完歩できました。 班付の応援、同期の協力のおかげで、 込み足が痛くなりましたが、班長や いた25㎞行進です。肩に背嚢が食い を背負い、足場の悪い道を無心で歩 特に鮮明に覚えているのが背のう



西目屋村出身 優菜 堀

膏

## 篇

### 施 鰕 膨 歠

りは、活躍できるよう頑張ります。 が<br />
成感が今でも忘れられません。<br />
ときの感動や達 ていますが、配属後も引き続き心が ると大変でした。しかし、大変だっ少し楽しみでした。実際に漕いでみ います。今も積極的な姿勢を心がけ そのために重要なのは積極性だと思 信頼される隊員になりたいです。 配属後の意気込み



岩手県

教育間の思い出



衛隊特有なところだと思います。 乗り越えていく仲間ができるのは自

楽しいこと、辛いことを共に支え、 自衛官を目指している後輩に一言

の経験を是非してもらいたいです

自衛官の道を考えている方にも



装着体験時の様子

ないものに目を輝かせていた。今後も、 様々なことを体験し、普段触れることの 救急法やコンパスを使用した体験など、 の体験や人命救助システムの取り扱い、 これから将来を決める学生たちに自衛隊 に着替え、装具等の装着体験、体力測定 森県立八戸水産高校の2名のインターン で駐屯地の概要説明をし、その後迷彩服 令和4年7月14日 (木) 駐屯地は、 ップ支援を実施した。当初、防衛館内

# 考にしてほしいです。 インターンシップで駐屯地へ!ハ戸水産高校2名

### 1 0 1

ありますが、一緒に切磋琢磨する同 自衛隊は辛い、苦しいと思う時が

期がいるので乗り越えることが出来

ます。自衛官になって一緒に任務に

励む目を楽しみにしております。

る事や、学生の時より心身共に成長 事は、民間企業には無い経験ができ ろを作っていこうと思います。 と思うので、他より勝っているとこ しかし、ついていくだけでは駄目だ 死についていきます。 自信に繋がったことです。ぜひ参 どんな環境でも置いていかれず必 自衛官になって良かったと感じる 自衛官を目指している後輩に一言



### 穩 쮆 徽

様々なことを実践しました。 とを前向きに捉え、どうすれば改善 だからこそ、教育中は指導されたこ た思い出でいっぱいです。 できるかと皆で考えを出し合って、 配属後の意気込み 教育の序盤から沢山指導されてき 教育間の思い出



青森県 八戸市出身 佐藤 櫻







ガス・石油機器 はちえきでんき リフォーム ハウスクリーニング コインランドリー

各営業所

おいらせ三沢営業所 七戸営業所 はちえきキャンパス 八食センター前給油所 はちえきコインランドリー石堂・城下店



第 1

0

1

高射

特 科 隊

## 隊の





抜くことの重要性を強調した。 ゆる手段を尽くして生き残り、

ゆる困難を乗り越え、与えられた任務を完遂した。

安全管理を徹底しつつ、

の基礎動作を主要演練項目として実施された。各中隊は

悪天候や各種脅威といったあら

本検閲は、中隊長の指揮、部隊の基本的行動及び隊員

精神的にも疲労困憊する過酷な環境下においても、

国民の生命と財産を守り

あら

度射撃中隊訓練検閲を実施した。

本検閲にあたり、遠藤連隊長は、「生き残れ」

「執念を持て」の3点を要望し、各自が肉体的・閲にあたり、遠藤連隊長は、「生き残れ」「頭を

地及び八戸演習場において2夜3日にわたり、

令和4年 八戸駐屯

各種実射の練度及び識能の向上を図っ まで継続してきた努力の成果を発揮し

連隊は、6月14日 (火) ~16日 (木) の間、













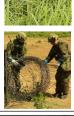








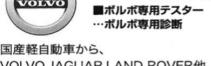












各国産·各輸入車診断

VOLVO.JAGUAR.LAND ROVER他 新車·中古車販売 修理

## (有)マルコウ吉田自動車工業

〒031-0072 八戸市城下3丁目2-28 **☎**0178(43)7530 FAX0178(43)7583

http://www.marukoh-yoshida.com/

## 活動状况

始、一撃必墜の信念を堅持して、方面隊長を核心に全隊員が一致団結し、終撃及び寒暖の差が激しい気象の中、付撃の差が激しい気象の中、付いのでは、を要望し、昼夜連続した敵の攻 を完遂した。 隊の対空作戦の骨幹部隊としての任務 かなる任務も完全に完遂できる第10得られた教訓を踏まえ、引き続き、い 訓練検閲を実施したが、本訓練検閲で 隊は、今年度、新編成となり、 高射特科隊を目指し、日々進化して 第4地対艦ミサイル連



連隊は、令和4年8月3日(水)、 第 9 後 方支援連隊

第

9 施

設 大 隊

38

までの間、岩手山演習場において、大隊は、令和4年7月19日~23日

令和4年7月19日~23日

個人携帯対戦車弾の実弾射撃を実施し を目的として12.7㎜重機関銃及び 連隊実射訓練」を実施した。 岩手山演習場において、 参加した隊員達は、豪雨の中、これ 本訓練は、部隊射撃能力の練度向上 「令和4年度

感を持ち訓練に取り組み、施設科隊 等を実施した。 指向性散弾、指向性爆破薬の検証、種爆破薬による対戦車地雷の処理、 上するとともに、 第1回大隊野営【爆破】を実施した。 員として必要な爆破技術の練度を向 道路爆破薬を用いた破壊障害の構築 各隊員は、一つ一つの動作に緊張 訓練項目は、手りゅう弾投擲、各 一件の事故もなく





【陸奥男山・陸奥八仙醸造元】 八戸酒造株式会社 八戸市湊町本町 9 番地 **②** 0178(33)1171

~ 16:00 ( 冬期は土曜も 営業時間:平日 10:00

第384会計隊

場において、 練度確認及び各会計隊の練度の準で定められた事項についての 計隊集中野営訓練に参加した。 %において、第1回東北方面会(火) までの間、王城寺原演習 隊は、 本訓練において「部隊訓練基 6月26日(目)~28日

付隊訓練検閲を実施した。

本訓練検閲は、

の基本的行動を完整させよ」「隊と本訓練検閲は、「基礎となる部隊以

までの間、八戸演習場において、

本部

隊は、6月20日 (月) ~22日 (水)



要望事項を踏まえ、各隊員に「任務の 礎を徹底し、継続せよ」との検閲官の

本的行動」「隊員の基礎動作」

するために創意を凝らせ」

付隊長(阿部1尉)は、

「任務を達成

「基本・基

項目として実施したが、検閲間、本部

の実動を確立せよ」の2点を主要検閲

して新たな編成である本部付隊として









も対応できるように練成

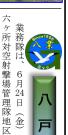
訓練展示を支援した。 方面総監部防衛部が実施し 開所式を実施した。 だいて令和4年度対空射撃場 とするご来賓に参列してい 長(橋本 晋 において、 また、7月3日 衛 様) 六ヶ所村村長 様) 代理 目 をはじめ 副村 東北





より一層いかなる任務に で得た教訓等を踏まえ、 結し任務を完遂した。 訓練検閲に向け、本訓練 10月に行われる

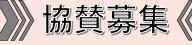
隊は、











八戸駐屯地広報紙「八戸」へ 御協賛いただける 企業機を募集しております!

◎協賛金額

 $-\Box$  ¥10, 000 (7cm×7cm)

◎連絡先

VRお墓参り

八戸駐屯地司令業務室 広報班 0178(28)3111(内線 2068) pr-4ssmr-nea@inet.gsdf.mod.go.jp

皆様からの御協賛お待ちしております!



またぎ飯とは、津軽地方の郷土料理で、猟師が狩りの最中に舞茸を見つけ、 仕留めたキジと一緒に炊き上げたことから名付けられたと言われています。 本来はキジや鹿、熊肉などを入れて炊きますが、八戸駐屯地では鶏肉を沢 山入れ、誰もが食べやすい味付けに仕上げています。またぎ飯の日は、い つもより隊員さんのご飯を食べる量が増える、人気なメニューです♪

- ① 精米、もち米を合わせて研ぎ、浸水させる。② サラダ油を使用し、鶏もも肉、舞茸、人参、糸こんにゃく、ささがきごぼうを炒め、食材がしんなりしてきたら調味料で味付けをす

お茶碗にたっぷり盛り付け、三つ葉をちらし完成♪

## ★★八戸駐屯地よりお知らせ★★

1000 Page 住所 八戸市市川町桔梗野官地 25 0178-28-3111

https://www.mod.go.jp/gsdf/neae/hachinohe/

SNSでも活動中! 夕八戸駐屯地で検索 おります。





### 平和を仕事 とする



第9後方支援連隊OB会「みちのく会」

第2対戦車ヘリコプター隊〇B会

第301高射直接支援隊OB会

第38普通科連隊八戸地区OB会

八戸駐屯地業務隊OB会

第5高射特科群OB会 第9施設大隊OB会「勇施会」

第9飛行隊OB会

詳しいお問い合わせは 青森地方協力本部 八戸地域事務所まで 🖙 TEL 0178-45-1920

むはじめましたほ 検索 『青森地本』 『八戸地域事務所』







**參朝日生命保険相互会社** 八戸中央営業所

これからも、介護を"あんしん"で支えつづける。

担当:**有澤·金澤·宮崎·秋山** 〒031-0802 八戸市小中野8-14-23 ☎0178(22)2890

